



### バトンを繋ぐ

校長 猪瀬 政幸

6月1日に体育祭が行われました。今年度は学級数の関係で縦割り対抗ができなくなったり、10連休のため準備期間が十分に取れなかったり、これまでとは違う様々な課題がありました。そんな条件でも生徒たちは全力で取り組み、しかも四中生らしく<sup>たの</sup>しみながら、その課題を乗り越えてくれました。

競技の中で特に印象に残っているのは全員リレーです。学年が上がるにつれて成長度合いに感心させられたのですが、それ以上に印象的だったのは、途中で大きく差が開いたとしても、あきらめずに一人一人が精一杯走っていた姿です。「どうせもう無理だ」とあきらめてしまいそうな状況でも、誰一人として手を抜かず、足が速い遅いにかかわらず自分の役割を果たそうとしていました。その気持ちがバトンを通じて繋がっていき、やがて抜きつ抜かれつの展開になるなど、観る人にも感動を与えるようなレースが多かったです。改めて「あきらめない事の大切さ」を生徒たちが身をもって教えてくれました。

こうやって仲間から仲間へ、先輩から後輩へ、たとえ形が変わったとしても、四中生としての伝統とプライド、そして熱い想いが、バトンを通じて今もこれからも繋がっていくのではないのでしょうか。

### 「やる」か「やらない」か、選択するのは自分自身 ※5/13朝礼講話より抜粋

先週、ウィルチェアラグビー（車いすラグビー）の選手の皆さんに来ていただきました。競技について説明して下さった峰岸（ミネシー）さんが、最後に話していたことを覚えていますか？

「やる」か「やらない」か、どちらの道に進むのか、人生は常に選択の連続です。その時は、ぜひチャレンジしてほしい」と。

23歳で交通事故に遭い車いす生活を余儀なくされ、その時は何もできない自分に絶望したとのこと。その後、車いすラグビーと出会い、「やらない」より「やる」という選択をして、その結果、巡り巡って、リオデジャネイロ・パラリンピックのときはテレビ放送の解説者に抜擢されました。

確かに、不運な事故に遭わなければ、まったく別の人生を送っていたでしょう。しかし、その時点で、あきらめないうで、「やる」という選択をしたことで、新しい世界が切り拓かれたのです。

ちなみに、今回の講演会を実現できたのは、私自身、「やる」という選択をしたからです。

2、3年生は覚えていると思いますが、昨年11月にシッティングバレーの日本代表選手の皆さんをお呼びして、オリ・パラ講演会を行いました。その際、「来月に日本選手権大会があるから、是非、観に来てください」と言われ、実際に観に行くかどうか迷いましたが、忙しい中、「観に行く」という選択をしました。

するとたまたま座った座席の隣に座っていた方が、先週お呼びしたチームアックスのスタッフの方でした。私は「来年度のオリ・パラ講演会にパラアスリートを呼びたい」、相手は「車いすラグビーを普及させたい」という、お互いの願いが合致して、先週の講演会に繋がったのです。

あのとき、「12月で忙しく、家でゆっくり休む」という「やらない」選択をしたら、実現しなかったことだし、選手たちと出会うこともなかったでしょう。

来年の東京2020も、仮に、車いすラグビーで日本が金メダルを獲ったとしても、それをニュースで聞いて「すごいね～」で終わってしまうところ、テレビになるか実際に試合会場になるか分かりませんが、彼らの試合をハラハラドキドキしながら観戦し、もし、本当に金メダルを獲るようなことになったら、自分のことのように感動するに違いありません。そんな素敵な体験をさせてくれるかもしれないのです。

人生は常に「やるかやらないか」の選択です。その時、「やる」方を選べば、新しい世界が切り拓かれるかもしれませんが、もちろん「やる」選択をして、すべてが上手くいくとは限りません。もしかしたら上手くいかないことの方が多いでしょう。しかし、仮に失敗したとしても、その経験は大きな財産になります。逆に失敗を恐れて「やらない」選択をし続けたら、現状維持のままで、新たな発見や気づき、そして成長も見込めないのです。

## 体育祭を終えて

6月1日(土)第40回体育祭を行いました。当日は過ごしやすい陽気で生徒も十分に練習の成果を発揮できました。今年度から縦割り種目がなくなり、昨年度までとは大きく種目を変更して行いました。二・三年生は例年と違う種目に戸惑う場面があると思いましたが、新種目にも前向きに挑戦をして対応をしていました。一年生は頼りがいのある先輩の背中を見ながら、中学校最初の体育祭を元気に楽しく頑張りました。新種目の全校ダンスでは、三年生がリーダーシップを発揮して各学年、クラスのダンスリーダーに振り付けを伝えていきました。生き生きとしている三年生の姿を見て、上級生から下級生に伝え学ぶ伝統をこれからも大切にしていきたいと感じました。当日はお忙しい中、多くの地域・保護者の皆様に温かいご声援をいただきました。ありがとうございました。



## オリ・パラ講演会(車いすラグビー)を実施しました

5月10日(金)5,6時限を利用してウィルチェアラグビー(車いすラグビー)チームアックスの選手4名、スタッフ2名計6名をお招きしてオリンピック・パラリンピック講演会を行いました。

「ガッツン!」と大きな衝撃音が体育館に響き渡ると、全校生徒が静まり返りました。

激しく車いすをぶつけ合う大迫力のデモンストレーション、一気に体育館にいるすべての人がそのプレーに魅了されました。その後、生徒代表による体験ゲームでは代表生徒がアックス選手に交じり、ナイスプレーの連続で講演会を終えることができました。

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、貴重な体験をすることができました。本大会での日本の選手の活躍を期待しましょう。がんばれ!ニッポン!



## 部活動担当から

5月11日(土)の部活動保護者会には、多くの方のご参加ありがとうございました。東京都の方針を受けて出された狛江市の部活動ガイドラインについて説明しました。(当日配布いたしましたプリントをご参照ください。)今後も、生徒の自主的、自発的な活動として部活動を学校教育の一環として捉え、教育課程との関連を図り、合理的かつ効率的・効果的に取り組んでまいります。今回の部活動ガイドラインに則し、本校では夏休みから部活動の最終下校を18時までとしますのでご理解とご協力をお願いいたします。また、今年の夏も猛暑が予想されます。ご家庭での健康観察もよろしくお願いいたします。

## 6月はふれあい月間です

東京都教育委員会は、「心の東京革命」教育推進の一環として、6月、11月、2月を「ふれあい月間(イジメ防止強化月間)」と定めています。各学校では、いじめや不登校、暴力行為等の問題行動について点検するとともに、早期発見・早期対応、未然防止等につながる取組を推進しています。本校でも、Q-Uアンケートの実施や面談(三者、SC等)の実施、生徒同士がふれあう活動を重視した教育等を通して、全生徒が楽しく、安全に、安心して学校生活ができるよう教職員一同取り組んで参ります。ご家庭の会話の中でも「やさしい心遣い」や「人権」等について話題にしていいただければと思います。よろしくお願いいたします。

## 令和2年度使用教科書見本の展示を行います

令和2年度使用教科書の採択に伴い、教科書見本の展示を市内3箇所の会場で6月14日(金)から6月27日(木)まで実施します。会場・時間等は【広報こまえ6月1日号】をご確認ください。

## 6月・7月の初旬の主な行事

- 6/10 全校朝礼、第1回学校運営連絡協議会
- 11 スポーツテスト
- 14 進路説明会(3)
- 19~21 期末考査
- 21 セーフティ教室
- 28 校外学習(1)
- 7/ 1 全校朝礼
- 3 音楽鑑賞教室(2)
- 4 都学力調査(2)
- 6 土曜授業・保護者会  
災害時引き取り訓練
- 10~12 修学旅行(3)  
職場体験(2)